

玉置の仕事場

THE COMPLEAT OF READEY MADE CLOTHING

ONLINE LIVE WORKSHOP 230218

欠点あるある修正方法 Vol.1



左の画像をご覧になって、みなさんは何を感じますか。これはたまたまネット検索で見つけた画像ですが、僕はこれを見た時、これほど醜い服がこの世の中で売られているという現実には大きなショックを受けました。服作りの担い手のひとりとして、日本アパレルのレベルの低さに泣きたくなるほどの悲しみを感じました。

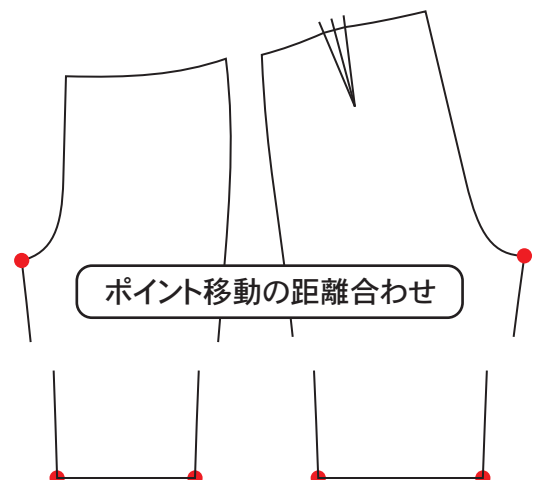
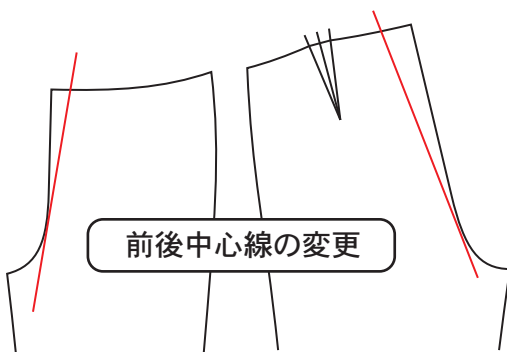
問題点

- ・このパンツが醜いという自覚が誰にもないこと

僕がもしこの撮影のモデルか関係者だったら、このパンツを履いた瞬間に仕事をボイコットします。少なくともモデルなら、いろいろなメーカーの服を数多く着用しているはずですから、これが醜いことは一発でわかります。わかった時点で、それをスタッフに知らしめることが重要です。このメーカーがもっと発展し、広くお客様の支持を仰ぐためにも、誰かわかっている人が、止めなければならないのです。しかしたとえわかっている人も、誰も何も言わないでしょう。他人を非難しないこと。それが日本人のモラルであり習慣だからです。だからレベルが上がらないのです。



■ パンツでやりがちな、間違った修正





根拠ない前後中心寝かし

尻グリの縫い代処理

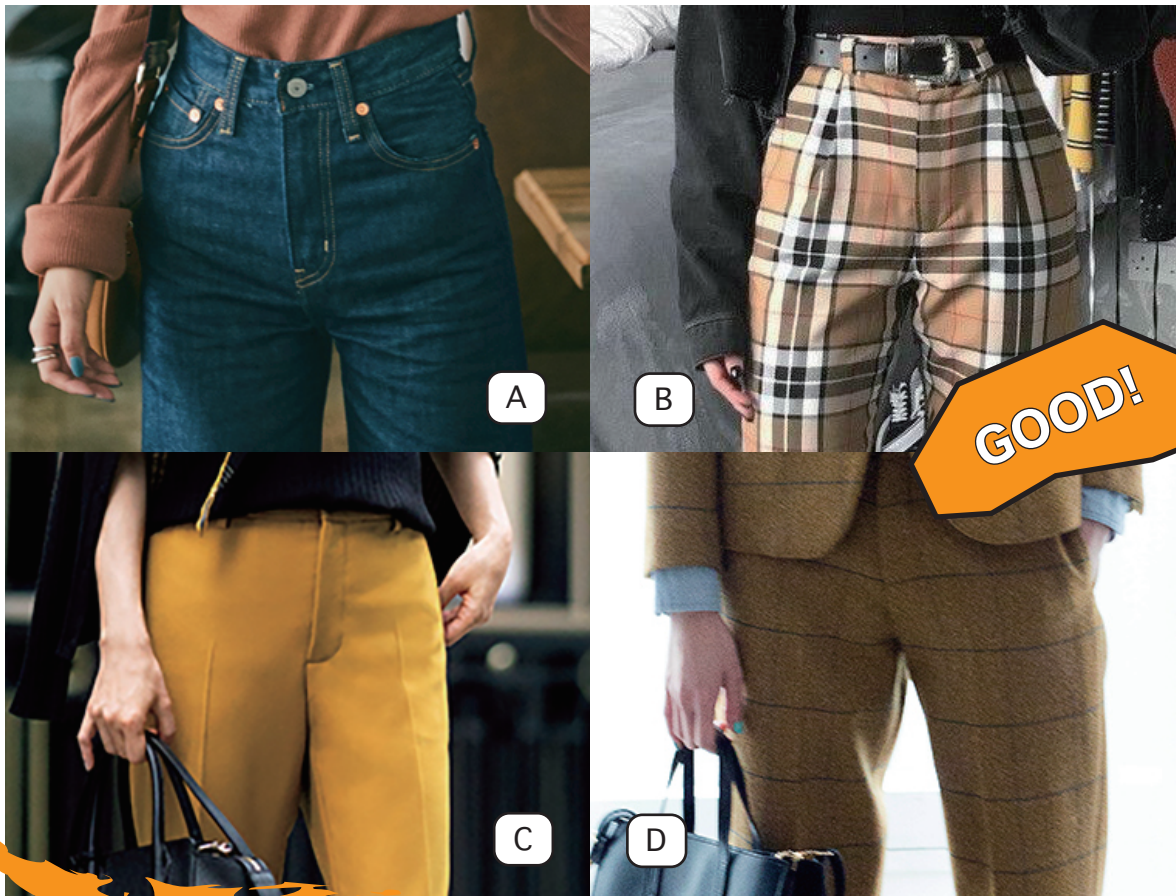
深過ぎる前股上

尻グリ形状

多過ぎる小股ゆとり

左の 4 画像は欠点が出ているパンツです。上に挙げた原因のひとつまたは複数が見られると思います。

下の 4 画像はかなり良くできているパンツです。縦横のバランスも良く、欠点らしき部分が見当たりません。共通して言えるのは、前中心が地の目とほぼ平行にできているという点です。



■ テーラードジャケットにありがちな問題点(特に女性用)

高い袖山

絞りすぎのウエスト

小さ過ぎるヒップ

あまりにも情けないスーツ姿。これから社会に出ていく学生とはいえ、もう少し自分たちの見た目に気をつづべきだと思うのですが、このリクルートスーツはまじヤバイですね。ほんとに誰か止めろよ！ って感じです。



ここに写っている全員に共通するのは、自分の体格より小さいサイズを着ているという点です。しかし問題なのは、この原因がどこにあるかです。着用者のセレクトが間違っているのか、供給されるスーツのパターンが悪いのか。



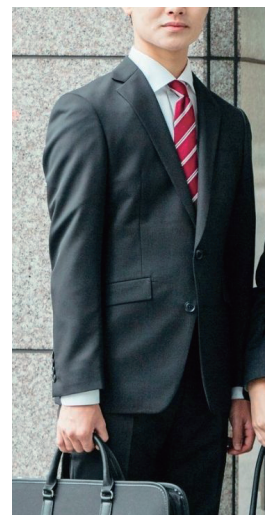
袖山が高過ぎる典型的な例



前が痒む服



誰か止めろよ!



いい加減にホワイト!

広過ぎる肩幅(逆三)

背幅胸幅のバランス

振り過ぎる袖



テーラードに関して常に思うのは、日本人の感覚や感性が、欧米にまったく追いついていないという現実です。21 世紀に入ってすでに 1/4 が過ぎているというのに、日本にテーラードが入ってきて何百年も経っているというのに、なぜ追いつけないのか。なぜこうなるのか。僕はこう考えています。日本人パタンナーの多くが、技術という概念をはきちがえているという点です。技術とはいったい何かを、もう一度良く考えるべきだと思います。

■ ハネの原因と対策

僕たちの世代は、若い頃から「ハネる服は良くない」と教えられて育ちました。だからハネる服を作ってはいけないんだと思いこんでいましたが、みなさんはどうでしょう。そもそもハネるとはどのような現象を言うのか、なぜハネるのか、まずはメカニズムを正しく理解することが先決です。

ハネのメカニズム

脇入れ

身幅と裾幅の調整

無理矢理ハネを取る

■ 抜ける服の原因と対策 …………… ”入る服” ”入らない服”

女性服のパタンナーさんにお伺いしたいのですが、わざわざ抜けるようなパターン設計をしているのでしょうか？
 それとも、パターンは普通に作り、着こなしで抜けさせているのでしょうか？
 本当は抜けたくないのに抜けてしまうとしたら、その原因をしっかりと探り、解決しなければなりませんね。



どっちがどっち？



どっちがどっち回答

■ 天幅が広がってしまう服の原因と対策 衿と衿グリの拡大縮小

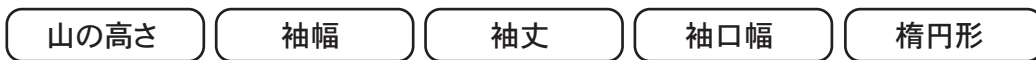
山の低い袖を設計する場合によく生じる現象ですが、原因は袖山よりカマ深にある場合が多いです。そのメカニズムを良く理解しましょう。

■ アームホール形状の調整とバスト増減 楕円形の役割

身頃のアームホールは袖が決めます。これが玉置メソッドの特徴ですが、ここには細かい微修正が含まれます。その微修正によってパターンの整合性が担保されるわけですが、その方法と原理を解説します。

■ テーラードの袖幅は最初に決められない 経験則に頼る以外に方法は無い

袖を設計する場合、以下の 5 項目を自身で決定しなければなりません。これらの要素を決定することで、あとは全てが必然的に決められてしまいます。それが玉置メソッドの原則です。



ところがテーラードに限らずイセの入る袖は、その原則が崩れてしまいます。上に挙げた要素を決めることができないのです。それはもちろんイセがはいるためです。イセは完成した身頃アームホールの長さに対して設定されるため、そのイセ分量によって袖幅は変化します。つまり袖幅は、必然的に出てくる結果として知り得るだけで、事前にこれを設定することは不可能です。

